

新北区文化センター整備基本計画（案）

令和4年5月

神戸市

目次

1. 新北區文化センターの整備に向けて	1
2. 施設の概要	6
3. 施設整備にあたっての視点	8
4. 新文化センターの基本的な機能と施設内容	10
5. 新図書館の基本的な機能と施設内容	11
6. 新すずらんたい児童館の基本的な機能と施設内容	12
7. 事業計画および今後のスケジュール(予定)	13

1. 新北区文化センターの整備に向けて

(1) 現状と課題

北区文化センターは、昭和49年12月に開設して以来、北区民の様々な地域・文化活動および体育活動の拠点として活用されてきた。平成6年には、近くにすずらんホールが完成したことで本格的な演奏会、発表会の場としてのご利用も可能となり、多様な市民活動に対応できる機能を一体的に備えることが出来た。

北図書館は、2階に児童書・多目的室・学習室、3階には一般書・絵本コーナーなどの機能を整備し、また、蔵書は9万冊を備え、緑あふれる豊かな自然と農村歌舞伎などの文化と深く根付いている北区のレクリエーションと民族芸能をテーマに資料を収集するなど、市民への図書館サービスの充実をはかってきた。

児童館は、18歳未満のすべての子どもたちが自由に訪れ、遊べる場所として、また、子育て中のお母さんたちの交流・情報交換の場として利用されてきた。さらに、中高生たちの居場所づくりとしても取り組みを進めてきた。

一方、施設そのものとしては開設から47年を経過し、以下のような点が課題となっている。

- 北図書館については市内で最も古い（昭和49年供用開始）地域図書館であり、手狭なことに加えて、バリアフリーの面でも課題がある
- 施設全体として建物の老朽化が進行しているほか、利用者から駐車場の拡充を求める声が多い
- 旧北区役所跡地については、解体及び跡地の利活用が喫緊の課題

また、これらの課題解消のため、施設の現地建替えを行う場合、施設の構造や立地条件などから、大規模な改修となることや休館期間ができることで市民サービスの低下が懸念される。



現在の北区文化センター

(2) 旧北区役所跡地の活用について

鈴蘭台では、駅前の再整備のみならず、その周辺についても、「まちの質」「くらしの質」を高める「リノベーション神戸」のプロジェクトを展開している。その一環として駅前移転後の活用方針が示されていなかった旧北区役所跡地について、上記に掲げる課題を、一体的にスピード感を持って解決するため、文化センターや図書館、児童館を含む新たな北区文化センターを整備する活用案を市民、議会にお示しし、ご意見をお聞きした（パブリックコメント実施期間：令和3年12月10日～令和4年1月17日）。その結果、旧北区役所跡地を新北区文化センターとして活用する方針を取りまとめた。

(3) 新北區文化センターに求められるもの

新しい施設の整備に際して、利用者、周辺地域住民、市民が求めるものを把握するため、以下の方法により意見募集を行った。

1. 旧北区役所跡地の活用方針（素案）についてのパブリックコメント
（実施期間：令和3年12月10日～令和4年1月17日）
2. 利用者及び区民アンケート
（実施期間：令和4年2月10日～3月13日）

主なご意見は次の通りである。

1. 旧北区役所跡地の活用方針（素案）についてのパブリックコメント

旧北区役所跡地の活用方針（素案）について令和3年12月10日から令和4年1月17日まで市民意見募集（パブリックコメント）を実施した。跡地活用の方向性についての明確な反対はなく、多くが新たな施設に対する機能や設備への要望であった。

○意見募集結果

- 意見募集の期間：令和3年12月10日（金）～令和4年1月17日（月）
- 提出された意見：18通（55件）
- 主な意見
 - ①施設全般について（11件）
 - ・体育室は騒音や振動が発生するため、図書館などの施設との併設に際しては、対策を講じてほしい
 - ・高低差を考慮した建物配置や誘導路になるよう設計してほしい
 - ②文化センターについて（28件）
 - ・競技室や体育室などの部屋数を増やしてほしい
 - ・駐車スペースを広く確保してほしい
 - ・施設を安価で利用できるようにしてほしい
 - ③図書館について（15件）
 - ・閲覧スペースなど十分確保してほしい
 - ・子どもから高齢者まで利用しやすいよう、バリアフリーに配慮してほしい
 - ・蔵書数を増やしてほしい

2. 利用者及び区民アンケート

新北区文化センターの整備にあたって、市民ニーズの把握のため、アンケートを行った。

■実施期間：令和4年2月10日(木)～3月13日(日)

■配布・回収場所

・北区文化センター（文化センター・図書館）、ベルスト鈴蘭台 3F すずらん広場、
北区婦人会、自治会、周辺児童館

・図書館ホームページ上のアンケートフォームにより回答（Web 回答）

■回答件数：926 件

■回答内容：以下の通り

【1】文化センターについて

将来のニーズの変化も踏まえて、新しい文化センターに充実させた方が良いと思われる部屋や機能、設備について

1. 諸室について（2つまで選択）

	用途を定めず多目的に利用できる部屋	文化芸術活動を行う部屋	トレーニング室	体育館	文化活動の成果を発表できるギャラリー	卓球、ダンスなどができる部屋
件数	516	306	219	198	168	136
割合	33.4%	19.8%	14.2%	12.8%	10.9%	8.8%

2. その他自由意見（主なもの）

○上記以外にあった方が良い諸室について

・学習室・自習室、こどもが自由に遊べる場所、美術室、時間貸で利用できる部屋、利用者のための保育室、カフェ、トレーニング機器の充実・更新、ダンス用の部屋、伝統芸能の稽古場として使える部屋、など

○設備・機能について

・防音性能の向上、体にやさしい作りの床（体育館）、花や緑を植えた憩いの空間、リラックスできるソファ、Wi-Fi、など

【2】図書館について

1. 新しい図書館でできればいいと思うことについて（2つまで選択）

	ゆったりとした座席で読書を楽しむ	個人またはグループで調べものや学習をする	子供と一緒に気兼ねなく本を楽しむ	本を介しての交流やイベントに参加する	ボランティアとして図書館活動に協力する	子供を預けて自分の読書を楽しむ
件数	631	309	232	165	88	61
割合	42.5%	20.8%	15.6%	11.1%	5.9%	4.1%

2. 新しい図書館で読みたい本（2つまで選択）

	様々な興味を満たす一般書	学びなおしに利用できる図書	調べものに使う専門書	医療や健康に関する図書	子育てや子供のための図書	大きな活字の読みやすい図書やCDブック	地元（北区・神戸市）に関して歴史や文化が分かる図書	中高生向けの図書
件数	565	209	193	129	126	116	115	70
割合	37.1%	13.7%	12.7%	8.5%	8.3%	7.6%	7.6%	4.6%

3. その他自由意見（主なもの）

○図書について

- ・人気のある新刊を多く取り揃えてほしい、たくさんの絵本、蔵書の充実、大きな文字の本、など

○施設、設備について

- ・開放感があり明るく緑のある図書館、明るい照明、外光を効果的に取り入れた空間、蔵書検索機能・機器、目の見えない方に耳から聞ける設備の充実、対象年齢ごとに分けた書架、木材を活用した心地よい空間、DVD コーナー、幼児・こどもが楽しめるスペース、余裕があり気持ち安らぐ空間、十分な座席の確保、自習室、地域情報をまとめたスペース、本を消毒できる機器、Wi-Fi、託児所など

【3】施設全体について

1. 施設全体として充実させた方が良くと思われる機能、設備について（2つまで選択）

	飲食ができるスペース（カフェなど）	高齢者、障害者が利用しやすい設備や機器	おしゃべりができ、小さな子供連れでも利用しやすい環境・スペース	北区の魅力や地域情報等を紹介するスペース	サテライトオフィス、テレワーク利用等ができる設備	キャッシュレス対応、スマートロック(電子錠)などの非接触機能
件数	484	341	300	174	140	65
割合	32.2%	22.7%	19.9%	11.6%	9.3%	4.3%

2. その他自由意見（主なもの）

- ・イベント開催スペース、自習室の拡充、多機能トイレの設置、明るく清潔なトイレ、掲示板、共有エリアのベンチ・ソファの充実、屋外に樹木・花・芝生・ベンチ等の設置、ゆっくり過ごせる屋外スペース、自動販売機の充実、利用者向け保育室の併設、駐車場の充実、など

3. 新しい施設へのアクセス方法について

	①特に対策は不要	②何らかの対策は必要
件数	287	446
割合	39.2%	60.8%

4. 上記3のうち、②に回答された方の自由意見（主なもの）

- ・駐車場の充実、駅からのシャトルバス、駅から直接歩ける歩道、坂道対策、ゆるやかなスロープ、坂の急な箇所に昇降機の設置、など

【参考】回答者年齢構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
割合	2.5%	2.8%	8.0%	15.2%	17.3%	23.3%	30.9%

2. 施設の概要

(1) 新北区文化センターの概要

<位置図>

【建設位置】

北区鈴蘭台西町 1 丁目 25
(旧北区役所跡地ほか)

【施設計画】

これまでの検討を踏まえ、新北区文化センターの施設計画の概要は以下の通りとする。詳細については今後設計時において検討を進めていく。



①規模・機能配置

【敷地面積】	約 3,600 m ²	
【建築面積】	約 1,700 m ²	
【延床面積】	約 8,500 m ²	
(内訳)		【参考】現状
・文化センター	約 3,100 m ²	約 2,500 m ²
(うち、体育施設部分)	約 1,400 m ²	約 900 m ²)
・図書館	約 1,500 m ²	約 835 m ²
・児童館	約 420 m ²	約 209 m ²
・駐車場、駐輪場	約 1,580 m ²	
・その他共用部	約 1,900 m ²	
【階数】	地上 5 階程度	

- ・新しい施設は 5 階建て程度、延床面積は 8,500 m²程度の規模とする
- ・来庁者用の駐車場や駐輪場については、特に自動車についてご要望が多いことから、可能な限り駐車台数を確保できるよう整備を行う。来館者に対する利用方法は今後検討を行う
- ・1 階は児童館を配置し、子どもたちが自由に来館し、安全に遊ぶことができる空間を整備する。子育て相談等も実施することで、地域の子育て支援の拠点とする。また、新北区文化センターに移転することを機に新たに学童保育を実施する
- ・2 階は図書館を配置し、1 フロア内でゆったりとした読書スペースを確保し、現在よりも蔵書を充実させる。また、様々な利用に応えられるよう、機能の配置やエリア分けを工夫し、明るく快適な読書空間を検討する

- ・3・4階は文化センターを配置し、隣接するすずらんホールに整備されている諸室との機能分担を図ったうえで、会議室や文化芸術活動の用途に使える特定目的室を整備する
- ・文化センターのうち体育館については、他区で新たに整備している体育館の仕様を基準とし、競技場、トレーニング室等の各施設を整備する
- ・5階は施設管理に係る機械室等を配置する
- ・文化センターと図書館は、それぞれの施設の行き来がしやすいよう、一体的な空間を意識したデザインを工夫する
- ・共用スペースに休憩やお茶ができ、ゆったりとくつろげる空間の設置を検討する
- ・その他、複合施設であることのメリットを活かした機能を提供できるよう、検討する
- ・各階の施設、共用部の備品・内装の工夫により、北区民に親しんでもらえる施設となることを目指す

②快適に利用できる施設として

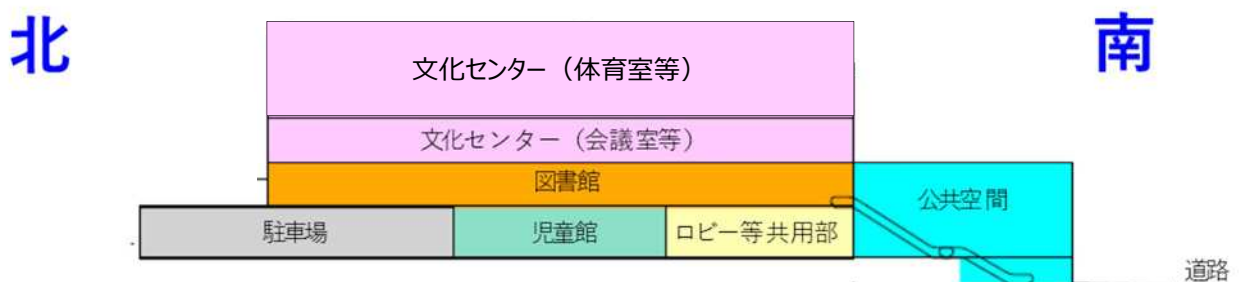
- ・現在の中畑山公園（※旧北区役所の南側にある公園）の敷地と一体的に整備することで、施設をできるだけ敷地南側へ配置し、駅からのアクセス性の向上を図るとともに、施設整備後も地域住民、市民にとっての憩いの場となるようなスペースを確保するため、施設の屋上緑化や敷地内でゆくりと寛げる空間、緑を活かした広場の設置等を検討する
- ・周辺のまちなみと一体感があり、親しみやすい景観となるような色彩、意匠等を検討する

③動線計画

- ・高低差のある立地条件の緩和のため、敷地南端から新施設1階へのアプローチに、エスカレーターを設置を検討する
- ・すずらんホール内エレベーターも活用することで、移動しやすい動線を確保する
- ・現北区文化センター方面への歩行者導線が高低差なく移動できるような工夫を検討する
- ・エレベーターは、文化センターと図書館の共用とし、効率化や両施設の連携を図る。また両施設の開館時間が異なる点にも配慮した施設計画・管理計画を行う

◎現在想定される施設断面図（案）

※今後設計を行っていく中で変更となる場合があります。



3. 施設整備にあたっての視点

新北区文化センターの詳細な設計を行うにあたっては、下記の事項に配慮し、文化活動・地域活動の拠点として誰もが利用しやすい施設の実現に取り組んでいく。

(1) 災害に強く、安全・安心な施設

- ・大地震が発生した後も、建物及び建物内部の被害を低減するよう、技術面・費用対効果等の観点から検討を行い、構造方式を選定する
- ・その他、激甚災害のリスクが年々高まっていることから、いざという時に施設利用者の安全を確保できるよう、設計の中で検討を行う
- ・感染症対策等について、最新の設備の導入、エビデンスに基づく適切な対策の実施により、安全安心な環境で継続して利用できる施設を目指す

(2) 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの施設

- ・ユニバーサルデザインの考え方を重視し、来館者が迷わずに目的地にたどりつけるよう、分かりやすい平面計画・動線計画とし、表示や配置を工夫し、分かりやすく、誰もが利用しやすい施設を目指す
- ・駅から徒歩でお越しになる方々への負担軽減のため、建物の配置や設備の工夫を検討する
- ・車でお越しになる方々への利便性向上のため、現在の北区文化センターより駐車場の容量増加を検討する
- ・車椅子利用者、オストメイト、オムツ替え等に対応し、誰でも快適に使用できる多目的トイレを設置する
- ・授乳室やキッズスペースの設置を始め、子育て世代の利便性向上を図る機能について検討する

参考



※トイレ案内サインの例



※多目的トイレの例

(3) 脱炭素社会の実現に貢献する、省エネルギーで環境にやさしい施設

- ・脱炭素社会の実現に貢献するため、新しい施設において積極的な省エネ対策を行う
- ・断熱性の高い建築資材の採用、高効率の設備機器や各種センサーによる制御システムの導入など、エネルギー消費の削減を図る
- ・太陽光発電の設置や雨水・地下水を雑用水として利用することを検討する
- ・建築物の環境性能を評価する CASBEE 神戸や建築物の省エネルギー性能表示制度 (BELS) において高ランクの評価取得を目指す
- ・配管や設備のスペースを十分に確保し、メンテナンスや更新を行いやすい計画とする
- ・「神戸市の公共建築物における木材利用促進に関する方針」に基づき、整備にあたっては効果的に木材利用の促進を図り、緑豊かな北区の特性を活かした施設となることを目指す
- ・地球環境の変化に伴う異常高温対策として、施設を適切に、快適に稼働させ続けることができるよう、建築資材や舗装材、設備等の検討を行う

◎木材利用例

参考：新中央区総合庁舎における木材利用の考え



1 階の多目的ホールやエントランスホールにおいて、壁面や天井に木ルーバーを、床面に木製フローリングを部分的に使用することにより、温かみのある空間となるように計画

(4) ICTを駆使した利便性の高い施設

- ・新型コロナウイルス感染症の流行以降、公共・民間問わず多くの施設において急速に普及した非接触対応（キャッシュレス決済、スマートロック等）についても標準装備とするよう検討していく。
- ・Wi-Fi 環境を整備し、館内各施設利用時の利便性を向上させる。

イメージ



4. 新文化センターの基本的な機能と施設内容

新しい文化センターについては、北区民・市民の文化活動・地域活動・体育活動等の拠点として、多くの区民・市民に利用され、親しまれる施設の実現に取り組んでいく。

ICT 関連設備を充実させるほか、今後の社会変化に対応できるよう柔軟で利用しやすい施設の整備を目指す。

(1) 主な機能

① 区民の文化活動・地域活動・生涯学習活動・体育活動の拠点

- ・現在の文化センターの利用状況、アンケート等によるニーズを踏まえ、諸室の数、規模、機能を十分検討の上、配置する
- ・区の文化的個性を活かした事業を実施することにより、多様な文化芸術に触れ参加できる機会を区民に提供する
- ・様々な芸術や生活文化に関する講座等を開講し、区民の生涯学習活動・文化活動への動機付けや、いきがづくり・仲間づくりの機会を創出し、生活の質の向上につなげていく。
また、介護予防や健康増進に役立つ講座事業にも取り組む

② ICT

- ・キャッシュレス決済、スマートロック(電子錠)の導入など、ICT の活用による利便性の向上を検討する

(2) 主な施設内容

現在の文化センターの利用状況等を踏まえ、以下のとおり配置する。諸室の整備にあたっては、隣接するすずらんホール内の諸室との機能分担を図り、必要な機能を整備する。

① 会議室

- ・様々な利用ニーズに対応できるよう可動間仕切り等を活用し、フレキシブルに規模を変えることができる工夫をするなど スペースの有効活用を図る
- ・パソコンやスマートフォン等のモバイル機器のスムーズな利用に対応するよう、インターネット環境を整備する

② 特定目的室

- ・様々な文化芸術活動への参加ニーズに対応できるよう、諸室（例：美術室、和室など）を配置する

③ 体育館・トレーニング室

- ・現在の文化センターの体育館は非常に利用率が高く、様々な競技に利用されていることから、現在新しく整備を行っている体育館の仕様を基準に、設計の中で競技場の規模の拡大等を検討する

5. 新図書館の基本的な機能と施設内容

(1) 目指す図書館像

パブリックコメントおよび利用者や区民へのアンケート結果を踏まえ、次のようなコンセプトのもと、新たに「暮らしに役立ち、暮らしを彩る図書館」を整備する。

- ① 豊かな時間を過ごせる図書館
明るい開放的なスペースや居心地のよい空間でくつろぎ、知的好奇心を満たす蔵書と出会うなど、暮らしの彩りとなる豊かな時間を過ごせる場所となる
- ② あらゆる世代のライフステージに寄り添う図書館
子供と一緒に利用しやすく子育て世代がリフレッシュできる空間、児童・生徒の学びの場、働き盛り世代や高齢者の学びなおしができる環境など、さまざまな世代の利用目的に応じた「居場所」となる
- ③ 北区の魅力を味わい、発信する図書館
北区の名所旧跡や文化財、豊かな自然に恵まれた魅力、住宅団地や工業団地の開発の歴史など、北区を再発見できる資料の収集と発信の場所となる
- ④ 本を介した新たなつながりを生む図書館
図書館でのイベントやボランティア活動、文化センターでの生涯学習や市民活動に対し、資料面での支援をはじめ、本を介したさまざまな営みで、新たな人のつながりを生む場所となる

(2) 必要な規模、備えや機能

新たな図書館に必要と思われる規模や設えは以下のとおり。

【規模】

- ・1,500 m²程度（共用部分を含む。現在は 835 m²）に、バリアフリーに配慮しながら、ゆとりある書架や座席の配置を行い、誰もが居心地のいい滞在型図書館とする
- ・市民からの要望が高い「様々な分野の図書や学びなおしに利用できる図書、専門書、地域資料」などを揃え、蔵書数は 10 万冊を超える規模とする（現在の蔵書数は 8 万 8 千冊）

【設備や機能】

- ・繰り返し来館したくなる魅力的なデザイン・インテリアの空間
- ・北区の豊かな自然が感じられるような内装における工夫
- ・にぎわいのある空間と読書や学習に専念できる静寂の空間のゾーニング
- ・わかりやすい案内サインや手に取りやすい本の配置
- ・自習席、パソコンが使える学習席、個人ブース、グループ学習室等、多様な座席
- ・図書館主催の講座やイベント、展示が行える多目的なスペース
- ・「おはなしの部屋」や、親子でくつろげるカーペットスペース
- ・座席管理システムや予約図書セルフ受取棚などwith コロナ時代に適合した非対面サービス
- ・文化センターや児童館と連携し、図書館や各施設単独ではできない事業やサービスを提供
- ・図書館ボランティアや図書の寄贈など市民参画型の図書館運営

以上の各スペース・設備・機能を、利用者の安全確保と職員動線を考慮して配置する。

6. 新すずらんだい児童館の基本的な機能と施設内容

(1) 主な機能

- ・遊びを通じて心身の健康を促し、情操を豊かにする
- ・子どもたちにとって安全で安心できる居場所となり、安定した日常生活を届ける
- ・相談や交流の場などの提供し、地域の子育て世帯を支援する
- ・地域の子どもを健全に育成する拠点となる
- ・中高生の世代間交流や学習支援としての活動拠点となる

(2) 主な施設

現在のすずらんだい児童館の利用状況などを踏まえ、以下のとおり配置する。

- ・集会室、遊戯室、図書室、事務室
- ・学童保育クラブ室
- ・中高生の居場所としてのフリースペース

7. 事業費および今後のスケジュール(予定)

(1) 概算事業費・延床面積(予定)

- 概算事業費 約50億円
(調査設計費、旧北区役所解体工事費、施設建設工事費等)
※金額については、今後、出来るだけコストの削減に努めながら詳細な検討を進めていく
- 延床面積 約8,500㎡

(2) 今後のスケジュール(予定)

- | | |
|---------|---|
| 令和4～5年度 | ・新北區文化センターの基本設計および実施設計
・旧北区役所庁舎の解体工事 |
| 令和6～7年度 | ・新北區文化センターの建築工事 |
| 令和7年度中 | ・新北區文化センターの供用開始 |

※(1)(2)ともに今後の詳細な検討により変更となる可能性あり